

せせらぎ

No. 356



2019年03月

滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

目次

1. 表紙からのメッセージ	×× ×××	P. 1
2. 私のひとりごと	×× ××	P. 2
3. 04月例会山行案内【花の伊吹北尾根 国見峠～御座峰】	×× ××	P. 3
4. 01月例会山行報告【武奈ヶ岳】	×× ×	P. 4
5. 01月例会山行報告【綿向山】	×× ××	P. 6
6. 01月度山行記録	×× ××	P. 10
7. 01月 HP アクセス推移	×× ××	P. 11
8. 01月度定例会議議事録	×× ××	P. 14
9. お知らせ／編集後記	×× ×	P. 16

今後の予定

日程	区分	内容
02月17日(日)	例会山行	岩籠山(福井県)
02月21日(木)	運営委員会	
02月23日(土)	定例会議	2月度定例会議 19:00～21:00 草津市民交流プラザ
03月02日(土)～03(日)	例会山行	野伏ヶ岳
03月17日(日)	例会山行	霊仙山
03月24日(日)	定期総会	総会終了後3月度定例会議 草津市民交流プラザ 13:00～16:30
04月07日(日)	例会山行	吉野山
04月21日(日)	例会山行	伊吹北尾根 国見峠～御座峰

表紙からのメッセージ

三峰山にて。。。

いつものようにフーフー言いながら、歩みを進めます。

後から追い付いて来た人に道を譲ると、「もうすぐ小屋。そこから山頂まで30分ですよ。頑張ってください！」と励まされます。

その方のザックには、雪だるまの型がぶら下がっています。

小屋で小休止後、山頂を目指すと、見つけましたよ、雪だるま！ その後もところどころにくつも出会えます。

山頂で雪だるま量産体制のその方に声をかけると、この山が大好きで、たくさんの方に喜んでもらえたら嬉しいとのこと。

綺麗な霧氷に感動、そしてたくさんのかわいい雪だるまに心癒されました。

×× ×××

わたしのひとごと めざせ 200 個！

××くん

湖南岳友会に入会して、もうすぐ4年が経とうとしている。時間の経つのが早い。その間に例会山行、個人山行などでたくさんの山に登った。2015年；17座、2016年；21座、2017年；23座、去年は32座に登った。この4年間で約100座位登ったことになる。自分でも感心している。岳友会に入会するまでは、年間に10座未満だったので、凄いペースになっている。これからも体力維持に努めながら、山登りを続けたいと思っている。

山頂に上がると、絶景が待っている。疲れが吹っ飛んでしまう。その素晴らしい絶景をカメラに収めるのが楽しい。山に登り初めた頃から登山の証し（記念）として、時々「山のピンバッチ」を購入してきた。先日、ピンバッチを確認したが「151個」になっていた。（自分でもびっくりしている）

山小屋ではその山のピンバッチが販売されている。最近ではいろんな種類のものが用意されており、オーソドックスなタイプから色も鮮やかなタイプまで、また形状も千差万別。購入は1個、同じピンバッチは購入しない、またネットでの購入はNG！（現地で購入）と決めている。通常1個が約400～500円位であるが、700円の高価なものもある。高いと思ったが、買ってしまった。

最近では、テント泊とか冬山山行などで山小屋に立ち寄る機会が少なくなったが、200個を目指したい。

【収集したピンバッチ】



4月定例会山行案内

花の伊吹北尾根 国見峠～御座峰^{こざみね}

花の山、伊吹北尾根。花を見ながら尾根道を歩きます。この山域は積雪が多いので、残雪があるかもしれません。残雪の程度によっては、さざれ石公園からのコースに変更することもあります。

下山後は時間があれば、揖斐川町「天空の遊歩道」を散策します。

1 実施日 4月21日（日）

雨天中止の時は、前日18時頃までにメールします。

2 集合場所

竜王インター、セブンイレブン 7時00分

名神多賀SA 7時30分

3 行程

9:20 国見峠（846m）～10:30 国見岳（1126m）～11:10 大禿山（1083m）～

11:50 御座峰（1070m）（昼食）～13:00 大禿山～13:40 国見岳～14:30 国見峠

歩行時間 登り2:00 下り1:40

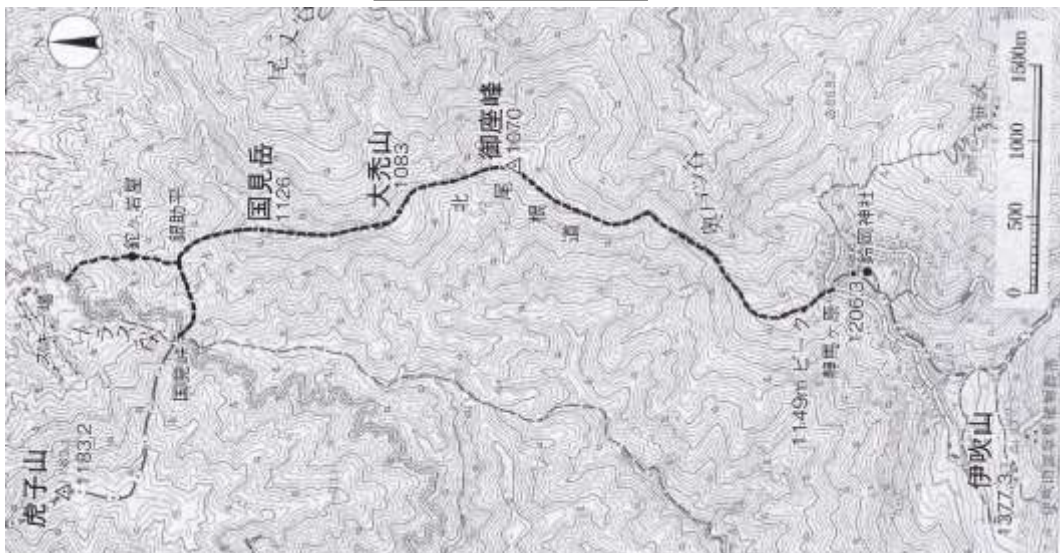
4 持ち物

通常山行用品

5 申し込み締切

4月11日（木）

伊吹北尾根ルート



例会山行報告

比良 武奈ヶ岳・八雲ヶ原テント泊

(報告:G)

2019年1月13日～14日

参加者:4名

<コースタイム>

1月13日

8:25 駐車場スタート→9:45 カモシカ台→10:55 北比良峠→11:20 八雲ヶ原(テント設営)12:45 八雲ヶ原出発→14:00 武奈ヶ岳→14:55 八雲ヶ原

1月14日

7:35 出発→8:55 電波塔→9:40 釈迦岳→11:50 駐車場

<一口感想>

「この年でつらいなー」と思って参加したテント泊。メンバーと天候と、踏みあとにめぐまれ、申し分ない山行を楽しめました。名ばかりリーダーとしては、ただ感謝です。

W



今まで私は装備を背負ってのテント泊を経験するチャンスがなく、やっと巡ってきたのは積雪多い比良山ということで、楽しみ半分不安半分で臨みました。大きなザックは想像以上に私の体を振り回し、歩き始めは息が上がり、ダケ道をカモシカ台はまだかまだかと思いながら…いえ、言いながら登りました。強くて優しいメンバーの皆



さんにたくさん助けていただいて、お天気と雪のコンディションにも恵まれて、素晴らしい山行をさせていただいたこと、本当に感謝しています。めっちゃ楽しかったです。これからもチャンスあれば、どんどんテント泊していければと思います！ M



2度目の雪上テント泊は、お天気と愉快的メンバーに恵まれたおかげでたいへん楽しいものになりました。テントの中の酒盛りでは話が弾み、「眠れるだろうか」と心配する間もなく、誰よりも早く爆睡させていただきました（笑）2日目の釈迦からの下り道では、何度も雪を踏み抜いて転び難儀しましたが、それも楽しい思い出となりました。 G



<会計>

交通費:(草津～イン谷口往復 68.2km×30 円+琵琶湖大橋往復 300 円)÷4 人
≒600 円

食費:2349 円÷4 人≒600 円

例会山行報告

綿向山(表参道往復)御幸橋駐車場から積雪がある

CL: × × × × ×

SL: × × × ×

山行日: 2019年2月3日(日) 曇り時々晴れ

参加者: 14名

コースタイム:

8:17 御幸橋駐車場 → 8:35 ヒミズ谷出合小屋 8:40 出発 → 9:20 二合目 → 9:35 アザミ小屋
9:50 アザミ小屋出発 → 10:10 五合目 → 10:30 七合目 10:40 出発 → 11:00 綿向山山頂
11:35 綿向山山頂出発 → 12:05 五合目 → 12:54 ヒミズ谷出合小屋 → 13:17 御幸橋駐車場

天候により開催日を2月2日に変更するか、計画通り2月3日に実施するか、最後までリーダーを悩ます天気予報で、結局、参加者の多い2月3日の実施とする。3日の天気予報は、晴れ後雨で15時頃から雨とのことで、山行の早い時間での完了と御幸橋駐車場のスペースの確保が課題となる山行でした。

7時過ぎに野洲駅を出発して、途中、竜王のコンビニに寄り2名の参加者と合流して、日野町綿向山に向かう。御幸橋の向こうの駐車場はほぼ満杯で、一台を橋の手前の駐車スペースに停める。他にも駐車場は開設されていて、まだ多くの駐車スペースがある。8:17 駐車場で準備を整えて出発する。道路には、積雪があり、アイゼンを早々に装着した人もいる。8:35 ヒミズ谷出合小屋で全員がアイゼンを装着する。葛折りの針葉樹の林の中の単調な道を登るが、3合目までは、思いのほか時間がかかる。気温が少し高いにもかかわらず厚着をした人が多く、アザミ小屋と小屋の手前で休憩して服装を調整する。やや傾斜の増した登山道を登り、針葉樹の林を抜けると、10:10 に展望の開けた5合目に到着する。曇り空の下に三上山が見え、さらにその向こう側に、比叡山が見えるが、雲が少しかかってあまり遠くは見えない。小屋の前に吊るされていた鐘を誰かが鳴らす、思いの外大きな音が出て、少しびっくりする。

積雪が増えた登山道を行くと、すでに登頂した人達とすれ違いながら、真っ白な雪に覆われた平らな行者コバの7合目に10:30 に到着する。樹氷求めて辺りを見るが、昨日の好天で全て消えてしまったようだ。傾斜の増したブナ林を登り始める。この辺りから本格的な登りとなるが、よく踏みしめられた道は、アイゼンがよく効き、気持ちの良い登りとなる。息が上がって付いていけなくて後退する人もいて、チーフリーダーがこれらの人の様子に注意を払いながら一緒に登る。葉っぱを落としたブナ林の向こうに、雪を抱いた美しい鈴鹿の山々が見え始めて、急登に挫けそうだった人に活力を与え、途中のコルで一息ついた後、一気に駆け上がると、展望の開けた綿向山山頂上に 11:00に到着する。

記念撮影をした後、風を避けて北側斜面で昼食を摂る。ひとときの晴れ間が現れて、雪を抱いた鈴鹿の雄峰雨乞山が目の前に、左手の樹林の先に、伊吹山の長い稜線が、この手前に霊仙山が重なって見える。いつも見ている独立峰の伊吹山とは違う姿をここからは見ることができる。この山容を見ていると、御池岳や霊仙山と同じ山容で、石灰岩のカルスト地形の山という事が容易に連想できる。伊吹山の隣に巨大な御池岳の頂上台地が真っ白に輝いている。東南に目をやれば、幾重にも重なった山々が薄っすらと雲に包まれて、遥か遠くまで続いている。遠くに見える山々は、大峰山系の山々だろうか。なんと優しく神々しい峰々であろうか。冬の山々の創り出す景色を満喫し、雲がかかり始めた山頂を後に11:35 下山を開始する。8合目を過ぎる辺りから、風が強まり悪天候の兆しを感じて、なんとか雨になる前に下山しなければと思い、スピードをやや早めて下山する。12:05 に五合目に到着し、登るときは見えていなかった白く光る比良山系がはっきり見え、最後の遠望を楽しむ。針葉樹林の中の緩みだした雪の長い道を下り、漸く12:54 にヒミズ谷出合小屋に到着して、泥の付いたアイゼンを外して、ベンチの下で谷川で洗う。さらに、林道を歩き13:17 に御幸橋駐車場に到着する。

目的の樹氷覆われた綿向山は見ることができませんでしたが、美しい冬の山々の景色を楽しみ、雪山初体験の方は、アイゼンを着けての雪の急斜面にチャレンジして、雪山の厳しさを少し実感していただいた事と思います。また、ベテランの方々には、雪山の感覚を取り戻していただき、本格的な春山に挑戦する準備が出来た事と思います。××さんには、素晴らしい

写真を写して頂き有難うございました。

最後まで開催日を決められなかった事や、下山スピードが速かった事等、参加の皆様にご迷惑をお掛けしたことを申し訳なく思っております。これに懲りずに、また、皆様と一緒に山行できることを楽しみにしております。今後ともよろしく願います。

by ×× ××

感想 ×× ××さん

直前まで参加をためらっておりましたが、集会の場で SL にお誘いいただき、おかげさまで久しぶりに冬山に行くことができました。

中盤までは植林の下の歩きやすい道でしたが、7合目の行者のコバからの冬道が戦いの本番、急坂をグイグイ上ると眺望が開けてきて、頂上では晴天にも恵まれ、御池岳、藤原岳、鎌ヶ岳、そして真正面には雨乞岳と周囲の山々がくっきりと見え、本当に来てよかったと思えました。

帰りは風が吹き出し、空も雲に覆われてくる中、休憩が一回だけの弾丸のような速さで降りてきて、無事、雨が降り出す前に下山をしました。

今回の登山は午後から天候が悪くなる予想で、リーダーも実施判断を迷われ大変だったと思います。

本当にありがとうございました。

感想 ×× ××さん

雨の予報という悩ましいお天気でしたが、なんともまいタイミングで、頂上に着いた時は一瞬青空が広がりました。お目当ての樹氷は見られませんでした。目の前の雨乞岳や鎌ヶ岳、遠くは能郷白山などの眺めを楽しむことができました。その後、雲が広がってきたので急ぎ下山することに。頂上近くの急坂をものともせず、まあそのスピードの早いこと。1時過ぎには駐車場に到着して、車に乗り込み帰途についた途端、ポツポツと雨が降り出しました。ともあれ今年も雪のシーズンに綿向山に行くことができ、ほんとにラッキーでした。

感想 ×× ××さん

初めての雪山で、不安を抱えながらの山行でした。

楽しんでいた、樹氷は見れずとても残念でした。

それと、慣れないアイゼン歩行は7合目からの急斜面は上り下りとも上手く歩けず苦勞しました。

でも、雪山のたいへんさが少し経験でき良かったです。

それに、頂上の青空や山々がきれいに見れて良かったです。

CL、SLさんお世話になりありがとうございました。



ヒミズ谷出合小屋



アザミ小屋



五合目



7合目



八合目付近



ブナ林からの景色



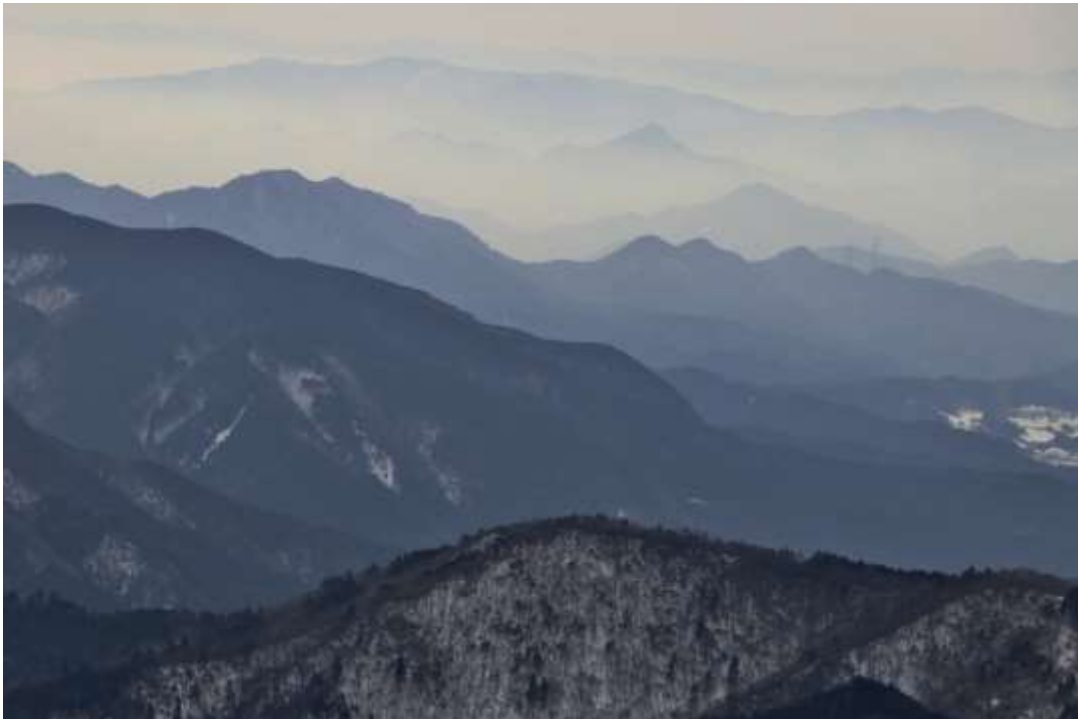
頂上直下



頂上で



雨乞山



東南の峰々



八合目付近を下る



七合目付近

2019年1月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
1/3	鈴鹿山系・綿向山		1	1	
1/4	鈴鹿山脈 霊仙山		4		
1/5	野坂山地 三十三間山		1		
1/6	愛宕山	例会	26		○
1/6	武奈ヶ岳		1	5	
1/8	音羽山(滋賀県)		2	1	
1/12 ~ 1/3	野坂山地 赤坂山～野坂岳		1		
1/12 ~ 1/13	金峰山		4		○
1/12	伊吹山		1	1	
1/13 ~ 1/14	比良武奈ヶ岳	例会	4		○
1/13 ~ 1/14	比良山系 武奈ヶ岳と八雲ヶ原テント泊		1		
1/13	武奈ヶ岳		1	5	
1/14	奈良・音羽三山		5	3	○
1/14	綿向山		3	1	
1/16	京都寺社巡り⑩		6	3	
1/19	奈良・大和三山		5	3	○
1/19	鈴鹿山系 綿向山		1	1	
1/19	比良: 鶴川～境界尾根		1	5	
1/19	比良山系 権現山～蓬莱山		4		
1/20	鈴鹿山系・入道ヶ岳		1	1	
1/26 ~ 1/27	鈴鹿山脈 イブネ		1		
1/27	六甲山系西部縦断		5	1	○
1/27	野坂山地・野坂岳		1	1	
1/27	堂山(アイゼントレーニング)		3		
1/27	皆子山		2		
1/30	比良山系 武奈ヶ岳		1		○

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。